

2026年2月27日(金)

2403号 (毎月25日発行) (大阪版)

1950年12月16日第三種郵便物認可

1部160円 月額470円(郵送料込月額120円)

平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

被爆80年の運動の成果を踏まえ

1月24、25日 関西原水協学校in兵庫開催

1月24日25日神戸市須磨区で関西原水協学校が開催されました。全体で58人の参加で、大阪からは17人が参加しました。

第1講義で、関西学院大学教授で、原水爆禁止世界大会起草委員長の富田宏治さんは、「内外情勢と反核平和運動の発展のために」のテーマで「高市政権の暴走と反核・平和の課題」として、ロシアやアメリカ、大国の「力による支配」「国際法蹂躪」、安保三文書改定のため「非核三原則」の見直しを指示する高市政権の危うさと、疑惑逃れのための奇襲解散と、「中道改革連合」の結成など内外の情勢を詳しく解説、今こそ憲法を真ん中にした共闘が必要。2026年を非核平和の日本に転換しようと話されました。

第2講義は、広島県被団協理事長の佐久間邦彦さんが「被爆者が切り拓いた核兵器廃絶への道」として、被爆者運動の歴史を語られました。被爆者運動の歴史を聞くのは初めてで、その苦難の道のり

に、昨年出された日本被団協・

日本原水協・原水禁国民会議の共同アピールが持つ意味を再認識しました。

第3講義は日本原水協事務局次長の土田弥生さんの「核兵器のない平和な世界へ・日本の核兵器禁止条約参加を」。今の核破局の危機に対して突破口になるのが、5年前に発効した核兵器禁止条約であり、日本政府をこの条約に参加させることであり、非核日本キャンペーンを広げることだと話されました。

神戸港を訪ねて

関西原水協学校の終了後、神戸港クルーズは45分間の遊覧航行で、川崎重工や三菱重工業で潜水艦が見られると



広島県被団協理事長 佐久間邦彦さん



神戸港に浮かぶ海上自衛隊の潜水艦

のことが。兵庫原水協事務局長の梶本さんにガイドをしていただきました。

港を出て最初に見えてきたが川崎重工。川崎重工は特殊船舶(ジェットフォイルや潜水艦)の造船や修理をして

いて、日本で一番大きな浮きドック(船の修理や点検をする施設)があるそうです。海上自衛隊の潜水艦はこの川崎・三菱の両造船所でのみ修理建造が行われています。進んでいくと三菱重工が見えてきました。大型コンテナ船などが造られてきた造船所ですが、今は潜水艦の建造のみ。日本最大の軍需産業です。写真は、梶本さんにいただいた神戸港に浮かぶ自衛隊の潜水艦です。一般の岸壁に無防備に、しかもアンパンマン記念館の対岸とは、違和



感とともに怒りがこみあげてきます。川崎重工の造船所で米軍の潜水艦の修理や点検を行う計画もあり、「非核」神戸方式」に対する攻撃が強まっています。非核「神戸方式」とは(1)入港希望該当国に(2)非核証明書(文書)の提出を求め、(3)提出のない場合入港を認めない。1975年、神戸市議会が「核兵器搭載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」を全会一致で採択したことから始まり50年間堅持してきたものです。アメリカ追隨の政府のもとで、非核三原則が脅かされる中、今の神戸港を見ておくこと、「非核」神戸方式」を名実ともに守ることは大事なことだと思います。 亀井明子

沖縄連帯行動

2月13日16名で実施

上本町交差点

2月13日 選挙後初めての沖縄連帯行動に取り組みました。天王寺平和委員会、平和遺族会、うたごえ協議会から16人の参加で、沖縄ちばりよ合唱団のうたごえにのせて元気に署名の訴えをしました。

「沖縄を戦争の最前線にしない」「辺野古新基地建設は今すぐストップを」「平和外交で沖縄を平和の島に」の訴えに、たくさんの方が足を止めて署名に答えてくれました。1023筆の署名が寄せられ、10000円のカンパもいただきました。

基地のない平和な沖縄を！





平和があたり前の世界をつくらう！

「市民と科学者の会」が学習とディスカッション 2月14日 95名が参加

2月14日、大阪グリーン会館で、「平和があたり前の世界へ 危機の時代に平和な日本と世界をめざす学習&ディスカッション」が開催されました。オンライン併用で、95名の参加がありました。主催は市民科学者の会大阪（日本化学者会議大阪支部・大阪革新懇・大阪平和委員会）です。

開会あいさつで山本謙治日本科学者会議大阪支部代表幹事から、大阪公立大学の軍事研究反対の取り組みと、中村哲さんの活動から「一人一人が逆流に抗して流される石ではなく、川底に貼りつく大きな石になろう」と話されました。

メインスピーカーの高山佳奈子京都大学教授は、犯罪学研究の立場から、今回の選挙結果をどう見るのか、ドイツと日本の憲法を比較しながら日本憲法の歴史的意味について話されました。

北泊謙太郎大阪大学助教授の、歴史学者の立場から、新しい戦前と呼ばれる現在と満州事変の頃との違いと共通するものについてのお話は新鮮でした。

ピースボートに森田幸子さんからピースボートの地雷除去やガザ・ウクライナ支援、について「9条世界会議キャ

ンペーンなどの活動について報告がありました。

ディスカッションは、大阪平和委員会会長の西晃弁護士をコーディネーターに会場からの質問に答える形で行われました。

高山先生は「憲法改悪について、大丈夫とは思わないが、少し時間はある。憲法前文と9条がある日本国憲法の意義を学び、あらゆる人たちに発信し、憲法改悪を許さない運動をつくらう」と締めくくられました。

選挙結果にモヤモヤしたが、日本国憲法の意義をもっと広げていこうと思いました。

この企画は大阪革新懇のHPからYouTubeで視聴できます。是非御覧ください。



6. 9 行動

2月6日 上六交差点 22人が参加

2月6日12時から上本町交差点で6・9行動を行いました。「非核三原則の見直しや、アメリカの核の傘の強化ではなく、核兵器禁止条約に参加して、核廃絶の先頭に」と、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名への協力を訴えました。寒い中足を止めて、9筆の署名の協力がありました。



第27回 アメリカ領事館前行動 1月30日 13人参加

27回目となるアメリカ領事館前で抗議行動を1月30日、行いました。参加者は13人でした。「戦後意後もイスラエルはガザへ攻撃を続けている。アメリカはイスラエルに戦闘をやめさせる」、「アメリカがすべきは、人道支援」と訴えました。



おすすめ本

『ここにある社会主義—今日から始める「ミニニズム」』
松井曉著 大月書店

ソ連、東欧の「社会主義」国が崩壊して以後、社会主義は時代遅れであるという認識が広まっています。しかし、著者の主張の中心は、社会主義が私たちにとって、どこにでもある身近なものだということだ。

私が感銘を受けた議論は、自由主義と社会主義の関係に関するものです。

「自由主義は、個人の自由を維持するために私的所有を、そして私的所有を確保するために権利正義を必須の概念取り込みます。しかし、それだけでは万人の万人に対する闘争に陥ってしまいます。そこで自由主義者は、大多数の弱者にも等しく人間の基本的権利、すなわち人権を保障することを提案しました」。

平等の概念も取り入れます。「他者危害原理」も、他者の幸福を考慮している点で「社会主義に接近」しています。著者の結論は、「自由主義は社会主義の支えがあつて存続可能なのです。ですから自由主義の中にもすでに社会主義はここにあるのです」。そして自由主義の発展として社会主義を把握されます。

社会主義に関する著者の他の論証も手堅いものです。一読を。

月1平和企画始めます・毎月第3金曜日 14:00~

「映画で語ろう」

第3回 3月20日(金休)14:00~

「医の倫理と戦争」 77分

参加費無料

大阪平和委員会事務所にて

次回

第4回 4月17日(金)14:00~

「満天の星」



【3月の行事案内】

- 1日(日)3.1 ビキニデー集会
- 4日(水)第8回常任理事会 18:00~
- 6日(金)6.9 行動 12:00~上本町六丁目交差点
- 7日(土)第16回天王寺平和委員会総会 13:30~
- 7日(土)~8日(日)日本平和委員会理事会
- 13日(金)沖繩連帯行動 12:00~上本町六丁目交差点
- 15日(日)旭区平和の会第24回総会 10:00~
- 20日(金休)「医の倫理と戦争」上映会 14:00~ 大阪平和委員会
- 30日(月)関西ブロック会議 14:00~ 神戸

